



## 諸國理事長がレギュラー出演しています

RSK 山陽放送テレビ、夕方の人気情報番組(月～金 17時00分～)「RSK イブニング5時」、毎月第1木曜日、諸國理事長が出演されています。9月までの放送日とその内容をお知らせします。ぜひご覧ください。

諸國理事長の担当コーナー「諸國先生の元気のもと足から！」(RSK山陽放送制作)

- ◇ 6月5日(木) 17時00分～
- ◇ 7月7日(木) 17時00分～
- ◇ 8月4日(木) 17時00分～
- ◇ 9月1日(木) 17時00分～

## ～当院では岡山大学病院 乳腺・内分泌外科教授、土井原博義先生の診察を行っています。～

乳腺疾患、甲状腺疾患が気になる方はご相談ください。

診察をご希望の方は当院外来受付、またはお電話で診察のご予約を承ります。

- ◇6月の診察日-25日(土)
- ◇予約受付電話番号:086-272-4088

## ・6月1日から岡山市乳がん検診のお知らせ

### ◇乳がん検診の費用

・視触診のみ 800円 ・視触診とマンモグラフィー 2,500円

※ いずれもクーポン券対象者の方は無料となります。マンモグラフィーは乳腺・甲状腺外来の日に女性放射線技師が担当します。

検診申込みのご予約は外来受付、またはお電話にてお申込みください。

- ◇予約受付電話番号:086-272-4088



土井原 博義先生

## さいわい健康講座のご案内

本年度も、当院職員による「さいわい健康講座」を開催いたします。お気軽にご参加ください。

開催日時	場所	演題・講演者
◇平成23年7月2日(土) 13:30～14:30	岡山第一病院 外来待合ロビー	「食中毒について」 講演者 管理栄養士 清水 和江、管理栄養士 松島 めぐみ

※参加のお申し込みは岡山第一病院で随時承っております。外来受付までお申し出ください。

※当日のご参加も受け付けております。

お問い合わせ電話番号 086-272-4088

担当/奥山、石井

### ●基本理念●

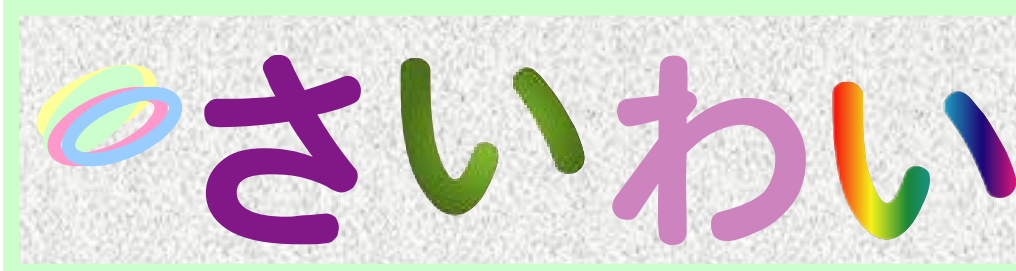
患者さんの声に耳を傾け、こころ通じあう医療  
-皆様の笑顔のために-

### ●基本方針●

患者さんの視点に立った安全で質の高い効率的なサービスの提供  
医療・看護・福祉および健康増進のトータルヘルスケアサービスの提供

～編集後記～ 諸國理事長の JMAT 岡山報告(東日本大震災 避難所巡回診療活動)を掲載しています。被災者の多くの方が充実した医療の提供を待ち望んでいることがよくわかりました。被災地にはボランティアの方もたくさん入り、テレビの報道も悲観的なことばかりでなく明るいニュースも届けてくれるようになったと感じます。つらい現実を見なければならぬ時もありますが、明るい兆しにもスポットライトを当てて欲しいと願います。さて、当院では6月から原口 総一郎先生による内科診療の開設など診療体制が変更になっております。外来受付までお気軽にお問い合わせください。(S)

医療法人社団操仁会  
岡山第一病院  
(日本医療機能評価  
機構認定病院)  
岡山市中区高屋343  
電話:086-272-4088



医療法人社団 操仁会  
岡山第一病院広報誌  
第24号  
平成23年5月15日発行

## 特集: JMAT 報告(東日本大震災 避難所巡回診療活動) 理事長 諸國 眞太郎

## 診療体制の変更について



理事長 諸國 眞太郎

東日本大震災が発生してから早くも2か月が経ちました。被災地の復旧・復興も少しずつ進んでいるようですが課題も多いようです。また、福島第一原発事故も真実はどこにあるのか?今後の日本のエネルギーをどうするのか?現実を見つめながら最善策を国民が選択する必要があるでしょう。

6月から診療体制に変更があります。長い間当院を支えてくれた岡田 淳先生が広島県の因島総合病院へ転勤されます。この人事は、内科医師確保に伴う人事で

岡山大学旧第二外科の三好教授のご指示によるものです。これに伴い内科医(特に腎臓が専門)原口 総一郎先生が常勤で診療を開始します。今までの外科医だけの観点からではなく、よりきめ細やかな内科医の目を通したチーム医療サービスの提供が出来ると思います。また、5月から既に皮膚科 原口 裕子先生が着任して業務しておりますが6月から週4回の診察となります。今まで以上にご利用ください。お願いいたします。

## 原口 総一郎先生による内科、原口 裕子先生による皮膚科・美容皮膚科開設のお知らせ



内科:原口 総一郎  
外来診療日/午前:月、木、金  
土(隔週)  
午後:火、木  
総合内科専門医、腎臓・透析専門医  
内科全般にわたり、診察させていただきます。



皮膚科・美容皮膚科:原口 裕子  
外来診療日/午前:月、水、木、金  
皮膚科専門医  
これからの季節、足の水虫が多くなります。足底や趾間の皮膚がむけたり、爪が白くなっている方はぜひ受診ください。

## 6月の外来診療のお知らせ

6月より診療担当医が一部変更になっております。※土曜日の総合診療は11日・25日は江田院長、4日・18日は中西医師が担当いたします。

診療科	診察室	診察受付時間	月	火	水	木	金	土
総合診療	診察室①	9:00～12:30	江田	中西	江田	中西	江田	(※参照)
		15:00～17:30	中西	江田	中西	中西	中西	—
諸國外来	下肢静脈瘤 日帰りセンター	9:00～12:00		諸國				諸國 (不定期)
内科	内科診察室	9:00～12:30	原口総	—	—	原口総	原口総	隔週
		15:00～17:30	—	原口総	—	原口総	—	—
循環器科	診察室③	9:00～12:30	—	—	赤木	—	—	赤木
		15:00～17:30	—	—	赤木	—	—	—
皮膚科	皮膚科	9:00～12:30	原口裕	—	原口裕	原口裕	原口裕	—
整形外科	診察室②	16:30～17:30	—	—	佐藤 (月2回)	—	—	—
乳腺・甲状腺 外来	—	9:00～12:30	—	—	—	—	—	土井原 (25日)
特定健診 巻爪外来 禁煙外来	—	9:00～12:30	—	特定健診 禁煙外来	—	特定健診 禁煙外来	—	—
		15:00～17:00	特定健診 禁煙外来	巻爪外来	—	特定健診 禁煙外来	—	—

## JMAT 岡山に参加して

岡山第一病院 理事長 諸國眞太郎  
(諸國眞太郎クリニック 院長)

東日本大震災が発生して2か月経過しましたが被災地の復旧・復興にはまだまだ時間がかかり、今後も長期にわたる国民挙げての支援が必要です。

今回、大震災発生後3週間後の3月31日～4月6日に宮城県石巻市で日本医師会が主導するJMAT岡山に医師1名、看護師1名、薬剤師1名、県医師会事務1名の4名で参加しました。主な活動は石巻赤十字病院災害対策本部の救護班として避難所の巡回診療を行うことで、JMAT岡山は全国から集まった3～5チームと「湊小学校」を中心とした旧北上川東地区を担当しました。



### <活動報告>

3月31日

岡山空港を7時35分発、羽田からは両備グループが提供してくれた自動車で東北自動車道を通り被災地へ向かった。17時45分に石巻赤十字病院に到着。本部に到着報告とスケジュールの確認。全体ミーティングで震災後に肺動脈血栓塞栓症(PTE)が11例発症、深部静脈血栓症(DVT)スクリーニングのための簡易型超音波検査を貸し出すとの話があり借り受けた。



4月1日

避難所への道路状況を確認。瓦礫で対向が困難な場所や冠水している場所、至る所で流された自動車や船、壊滅した家屋を目の当たりにした。本日は石巻赤十字病院の院内支援で準夜帯の外来診療を担当。黄色にトリアージされた患者は高山赤十字病院チーム、私たちは緑を担当し59名の診察。24時30分に終了し、近くのロッジに移動し寝袋で寒さをしのぎ睡眠をとった。



4月2日

午前は湊小学校で診察。午後は保健師から依頼された在宅被災者の往診。独居老人が津波の浸水を免れた2階で生活。高血圧と便秘があり投薬と浣腸処置を行った。

4月3日

午前は湊小学校で診察と避難所居住者のDVTチェックとストッキング着用法の指導を行った。午後は明友館で診察およびDVTチェックを行った。

4月4日

午前は湊小学校で診察。午後は稲井公民館で診察を行った。避難所生活者やリーダーが人間関係のストレスで疲弊している話を多く聞いた。

4月5日

午前は湊小学校で診察。午後は渡波小学校、漁港等の被災状況を視察。その後、後続の田辺チームと合流し申し送り。18時30分石巻を出発し25時羽田空港近くのホテルに到着。



4月6日

9時5分岡山へ帰還。

### <まとめ>

担当地区では慢性疾患と風邪などの症状が多くみられた。また震災前に服用していた薬が切れ混乱が生じていた。さらに津波で堆積した大量の泥による埃がひどく喉や目のトラブルが多かった。避難所は、電気、水道、ガスが復旧しておらず、給水車、仮設トイレで対応していて衛生状態がよくなかった。女性特有の衛生問題もみられた。薬剤師は薬剤の適切な情報を提供して被災者の不安を取り除き、看護師は看護の視点から十二分にケアを行った。

大震災から3週間経っても被災地には、「かかりつけ医」自身が被災者のため十分な医療提供はなかった。しかし、医療以前の問題すなわち「生活する」ための課題が山積していた。この状況でも被災者たちは被災地で日常生活を早く取り戻したいと強く願っていると感じた。被災地域の「かかりつけ医」が早く機能を回復できる支援が重要だと感じた。

宮澤賢治の「アメニモマケズ・・・」が被災小学校の卒業式で読まれたと新聞記事で読んだ、「・・・サウイウモノニワタシハナリタイ」。被災された東日本の人々の強さを改めて胸が熱くなった。

